

宇津木台 森遊会 実施報告

「第8回定例活動」

No.2015-08

実施日	2015年11月22日(日) 10:00~12:10	天候：曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：7名(男性3、女性4) 矢島、大神田、鶴田、大澤、亀井、伊東、金井 インストラクター：金森		

実施内容

活動5年目の第八回目。晩秋にしては暖かい。土曜日からの3連休の中日とあって参加者が少ないため除伐後したエリアの片づけは行わず、巣箱の設置のみ午前中に行い解散することとした。

巣箱は、地元の市立石川中学校ボランティア部の皆さんが組み立てキットを購入して製作したもの。緑地の手入れや掃除だけでなく、普段から緑地を散策する楽しみはないものかと、巣箱の設置を提案した。この時期に設置しておけば冬の間に環境に馴染んで春の繁殖時期に間に合う想定。

巣箱の必要性やメリット、取り付け場所の条件などを説明、緑地を移動しながら既に設置してある6個の巣箱に近づき過ぎないように新たに6個の巣箱を取り付けた。木の太さに合わせて錆びにくいステンレス製のワイヤーを切る、巣箱の穴に通す、脚立に登り2人がかりで取り付ける。中学生全員が体験することができた。既に設置の6個のチェックと掃除も完了。来春を待つばかり。

4~5月に野鳥が利用する様子を観察してみたい。日時を決めて観察会を行う。

オリンパス駐車場に戻り、12月の定例会の案内をして12時過ぎに解散した。



巣箱の説明の後、緑地の中を移動しながら1つずつ丁寧に設置してゆく



木の太さに合わせた長さのステンレスワイヤーをまず通す



脚立を支える役、巣箱を支える役、巣箱をワイヤーで固定する役、交代しながら無事6個を設置完了



終わる頃には手慣れていた



巣箱同士が接近しない、風向き、手前が開けている、うつむき加減にするなど、考えながら取り付けた



来春が楽しみ

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は発生なし。